

関西大学経済・政治研究所 第238回産業セミナー

聴講無料
事前申込要

【開講の挨拶】

今回の産業セミナーでは、近年注目されている「負の歴史遺産」や文化資料を観光資源としてとらえる考え方について、その意義や可能性について考察します。

第一報告では、いわゆるダークツーリズムについてお話しします。近年、災害地や産業遺構などを訪問し、悲しみを悼む旅が注目されています。そのような旅はダークツーリズムと呼ばれています。この報告では、ダークツーリズムという言葉をめぐる混乱を整理した後、災害地や産業遺構を訪ねる旅における経験価値という視点から考察し、今後の課題について考察していきます。

第二報告は、「負の遺産」の展示のあり方についての考察です。戦争や災害など人間社会がもたらした「負の遺産」を展示する施設は国内外に存在し、その歴史観や展示手法は時代によっても変化してきました。最近では、映像を多用するものや、個人の物語に焦点化する展示が増えています。この報告では、いくつかの代表的なミュージアムを紹介しながら、それぞれの施設が負の遺産をどのように表象し、語っているのかを比較・考察します。そのうえで、負の遺産を観光資源とすることの意味についても考えます。

＜エキシビションとツーリズム研究班 主幹 岡田 朋之＞

日時：2020年7月31日(金)13:00～16:10

会場：関西大学 梅田キャンパス 8階大ホール

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1番5号 TEL:06-4256-6410

【テーマと報告者】

「ダークツーリズムを考える」

エキシビションとツーリズム研究班 研究員
関西大学 総合情報学部 教授

古賀 広志

「ミュージアムが語る『負の遺産』」

エキシビションとツーリズム研究班 研究員
関西大学 社会学部 教授

村田 麻里子

- ◆ 対象者 経営者、企業・行政関係者、社会人
- ◆ 問い合わせ先 〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学研究所事務グループ
TEL(06)6368-1179/FAX(06)6339-7721

産業セミナーのお申込みはこちら→

【事前申込制(先着:60人)】

申込〆切:7月27日(月)17:00

参加ご希望の方は、

氏名・ふりがな・所属・連絡先・参加人数、件名に「7/31セミナー申込」を明記

の上、下記のお申し込み先(関西大学

研究所事務グループ)まで電話、FAX、

E-mail(keiseiken0401@gmail.com)でお

申込みください。

主催
後援

関西大学経済・政治研究所
大阪商工会議所
大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行



関西大学
KANSAI UNIVERSITY

